



撮影場所：箱根駒ヶ岳 箱根元宮（神奈川県足柄下郡）

謹賀新年

乙
巳

〈2025年〉

明けましておめでとうございます。

昨年は、日本では石破新総理が決まり、そして世界の注目下で行われたアメリカ大統領選で共和党のトランプ氏が再選されました。1月からトランプ政権が始動するにあたって、世界にどのような影響が出るか、今後世界最大の国家アメリカの動きが注目される年となりました。

今年は乙巳^{きのとみ}の年で、「乙^{きのと}」は十干の2番目で「木」の要素を持ち、草木がしなやかに伸びる様子を表します。

「巳^{みへび}」は古来神様の使いとして考えられてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルとされています。そのため、乙巳の年は再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展してゆく年になると考えられます。

今年世界が良い変革の年となる事を望むところです。

昨年も徳真会グループでは国内診療部門では年間70万人を超える患者様の治療に携わらせて頂きました。

また、技工部門ではバンコク(タイ)のデザインセンターが本格的に始動し始め、日本(6拠点)、アメリカ(3拠点)、ミャンマー、タイの各拠点の特性を生かした国際的連携の仕組みが出来上がり、世界の歯科技工物を各拠点で製造することで、納期、品質、価格、サービスの面で他に類を見ない技工センターの立ち上げの準備が完了しました。

今後、衰退著しい日本の歯科界において、世界からの仕事を受注し、また、外国籍の患者様の治療の増加も含めて、「世界で最も優れた歯科医療グループの創造」へ向けて、また一歩前進してゆくつもりであります。

今年、徳真会グループは昨年に引き続き「人材の育成」と「組織の国際化」に向けて注力してゆきます。

①<診療部門>

現場力の強化

1. 現場スタッフの技能、態度教育の徹底
2. 歯科衛生士の増強と予防管理体制の充実により、継続力の有る「かかりつけ歯科」を強化
3. デジタル機器の導入促進により、治療技術と診療情報の見える化と効率化
4. 無料送迎サービスの拡充(新潟、仙台、福岡地区)
5. 在宅サービスの拡充(全地区)

②<技工部門>

国際化

1. 国際分業化により、海外からの受注を本稼働させ、日本の技工部門を外貨獲得産業へと変革し、国家貢献型産業へと成長させる
2. デジタル機器の導入により、納期の短縮、品質の均質化、大量受注を可能にする
3. 衰退著しい日本の技工界で、若い世代が夢を持てる職業へと創り変えてゆく
4. 海外拠点での人材の雇用、育成による国際貢献の継続拡大

③<管理部門>

効率化

1. ITを駆使した運営システムの開発により、従来の歯科界にない組織創りの強化
2. 外国人対応スタッフの採用育成により、国際的な現場力の強化

以上をスタッフ一同、本年の課題として具現化させてゆきます。お気づきの点や御要望があれば何なりと御指摘頂ければ幸いです。

(徳真会患者様ご相談窓口 TEL:0120-24-7072)

今年も、皆様にとって良い年となります様祈念致しております。

2025年 正月

徳真会グループ
代表 松村 博史